

森の時間

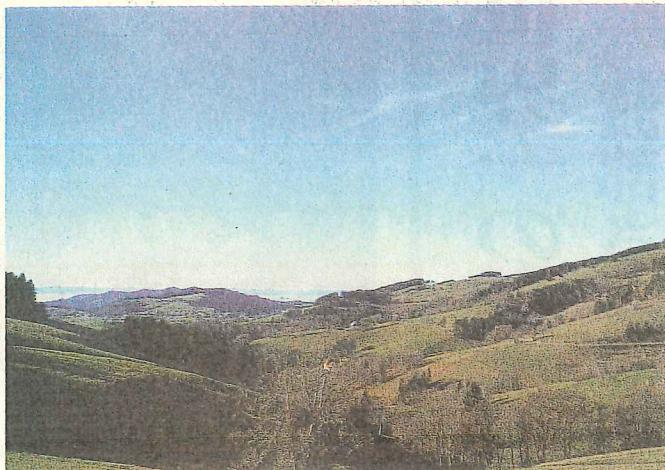
(120) 終

「山形大学農学部から

みなさんへー

「森の旅2016」(2
0-06年以来、毎年「森
の旅」でドイツを訪問し
ています)で、フライブ
ルクから南西へ約15キ
ュヴァルツヴァルト(黒い森)
の西側に張りついています。
ここには併設温泉保養
地、パート・クロッチン
ゲンを訪りました。人口
2万人弱の小都市ですが、
保養・観光地として10
0年ほどの歴史を有して
います。

こじんまりした駅で降
りると、駅前通りは商店
街になっています。ドイツ
の町は、小さくてもそ
の町の中で一通りの買
物ができる商店がそろっ
ているのが特徴です。こ
の町も温泉で療養しながら、不便なく日常生活を
営むことができます。
広い緑地帯のなかほど
にツーリスト・インフォ



南シユヴァルツヴァルトの典型的な風景。谷あいに
民家(多くは農家で、民宿も営んでいます)、周囲
に牧草地があり、その上側には森林が配置されています(2016年12月1日)
(それ筆者撮影)

「パート・クロッチンゲン」(パートはドイツ語で
温泉の意)のシンボルモニュメント。右側にいる元
姿が表現されています(2016年12月2日、それ
ぞ筆者撮影)

森を活かす生活

平 智

ー シュヴァルツヴァルトに学ぶー

さて、10年間、計12

0回にわたって連載して
きた「森の時間」ですが、
今回をもっていったん連
載を終えることになります。
読者のみなさんから絶え
ず温かい励ましをいただき
ましたことに心から感謝
いたします。最後に、
主たる執筆者としてこの
連載をけん引し、鶴岡・
山形のアナの森をじよな
く愛してやまなかつた、
故小山造正氏の冥福を改
めて祈りたいと思いま
す。

(山形大学農学部教授、専
門は園芸学および人間・
植物関係学)

本紙ホームページでも
カラー写真が閲覧でき
ます。

らく療養し、みごとに日常活動に復帰されました。

健康を回復していくので、常生活に復帰されました。

料理プロジェクト」。自然公園内に棲む野生動物の頭数調整のため狩猟で得られたジビエ肉を公

学させていただきました。

和式と思われる湯船を発見して驚きましたが、大

きな裸のつきあいがあ

ったとは知りませんでし

た。でも、決して植物たちは自然な感じで配置

されています。でも、決して植物たちは自然な感じで配置

されています。でも、決して植物たちは自然な感じで配置